NIE実践報告

1．タイトル：**読み解く力、NIE　~　新聞に触れる・新聞を読み深める~**

2．学校名

広島県広島市立沼田高等学校

3．実践者名（代表者名）

竹内　功、中西　可奈

4．学年

第1・2・3学年（全学年）

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習　　約850人（全校生徒）

6．単元（本時の学習課題）名

新聞を読み深める

7．目標(狙い)

温暖化現象に関する新聞記事から、現在おかれている状況を読みとり、今後の課題を考えていく

8．評価の視点

ワークシートを手掛かりに、自ら読み、自ら視野を広げ、自ら課題を見つけることができたか

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

総合的な学習として1時間
年間を通して、校内に新聞を掲示する

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①校内に掲示してある新聞と今回の授業の関連づけをする（導入10分）

②新聞を読みながら、ワークシートを記入する（展開30分）

③新聞を読むことの大切さを、日常生活だけでなく、進路（大学入試）とも絡めながらまとめていく（まとめ10分）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

環境問題は身近な問題であり、報道でも数多く取り上げられていることから、概ね積極的に、関心をもって取り組むことが出来た。

12．成果と課題

年間を通じて新聞に触れる機会を設けたことは、1学期に掲示した新聞を読んだ生徒が28.6%だったのに対し、2学期には71.4%となり、たいへん有意義であった。また、総合的な学習で環境問題を取り上げたことも、興味関心をひくテーマであり、意欲的に取り組むことができた。
授業でなくても新聞を読み、掲示していなくても自ら新聞を手にとって読むようになるにはどうしたらよいかが課題である。ハイテク機器にはない、新聞の良さを伝えていくことが大切であると感じる。